

# 意見発表を受けて

北九州市立洞北中学校 校長 竹中 雅則



最初に、今回このような大きな舞台で、そして多くの聴衆の前で自分の思いを堂々と発表してくれた9名の生徒の皆さんに心より敬意を表します。

また、今回の発表に際して、関わっていただいた各校の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

それでは、それぞれの発表について、簡単ではございますが、講評をさせていただきます。

## ①高須中学校 浅井 優奈（あさい ゆな）さん

素晴らしいと感じたのは、体験の中から、自分の内面を見つめなおし、行動を変えて、周りに伝えていこうとする強い意志です。人を動かすには、まず自分から動きだすことが必要です。

浅井さん自身が「周りの人のことを考えた行動」をとっているからこそ、友人が安心して相談できる、心強い評議委員として認められているのだと思います。

浅井さんの思いと行動がさらに学校全体に広がり、そして健全な社会につながることを期待しています。

## ②向洋中学校 本田 陽菜（ほんだ ひな）さん

本田さんの発表から、生まれ育ったまちへの強い「誇り」がうかがえました。まちの環境を愛し、人の優しさに触れることで、自分の生き方について深く考えていることがとても伝わってきました。

本田さんが育った地域は、自然に恵まれ、若松区や北九州市の良さがたくさんつまった素晴らしいまちです。その誇りあるまちから、本田さんが看護師として羽ばたき、地球規模で活躍する姿を楽しみにしています。

## ③若松中学校 鎌田 幸（かまだ さち）さん

過去の北九州市の公害問題を授業で学び、単にそれを知識として終わらせるだけでなく、現在の問題と比較して、危機感をもち、自分でできることを考えて、行動しようとしていることはとても素晴らしいことです。

私たちの北九州市は、環境未来都市として国内外から注目されています。公害から復活した先人の労に報いるためにも、すべての人が若松中学校の目標である「当たり前前」のことに当たり前にできる、そんな社会になることを心から願っています。

## ④洞北中学校 内田 暉人（うちだ あきと）さん

海洋汚染の問題について、大学教授の研究を引用し、具体的な数値を示して、筋道立てて話ができていることにとても感心しました。まさに、問題解決の過程で大切なことは、「知識・理解」から始まり、問題について「思考、深く考え」、そして「表現する」ことです。

報道でもあるように、世界的にも、そして現在の日本も海の問題を抱えています。「母なる海」を守っていくための、私たち一人ひとりの行動について考えさせられました。

## ⑤石峯中学校 尾形 真奈美（おがた まなみ）さん

防災・減災の取組は、私たちの命に直結する大変重要なものです。奇しくもこの大会の前日は、1923年9月1日に発生した関東大

震災にちなんだ「防災の日」で、多くの施設で、避難訓練などによる災害への準備が行われたことと思います。

尾形さんは、自分の目で自然災害による甚大な被害を見て、そして被害に遭われた方の話を聞き、いつどこで起こるか分からない災害に対し、「自分の命は自分で守る」ことの大切さを知って、本当の意味での準備をすることができました。

今度はその経験と意思を、さらに多くの方に伝えてもらい、災害時には一人でも多くの命が救われるようになることを願っています。

#### ⑥二島中学校 白石 塁（しらいし るい）さん

「あいさつ運動」と「オレンジリボン運動」はとても素晴らしい取組です。この2つの運動に共通するのは、「相手を思いやる気持ち」です。人は一人では生きてはいけません。人と良好な関係を築くことができれば、生活が豊かになります。

「挨拶には人と人との関係を築く力がある」という言葉に大変共感しました。白石さんを中心とした執行部と代議員の皆さんの取組とかが、学校全体に広がり、明るく活気のある姿になっていくのが目に浮かびます。これからも挨拶と笑顔があふれる北九州市にしていくために、取組を続けてください。

#### ⑦高稜高等学校 中村 俊哉（なかむら としや）さん

中村さんの発表から、お父様との強い絆を感じました。日常の生活の中では、気付くことが少ない「親からの愛情、親への思い」、親子という近い関係だからこそ、当たり前と想っていたことが、そうではなくなった時の「喪失感と胸を打つ痛み」。そうした経験の中から、「今を大切にして生きたい」と、強い意志で前に進んでいる姿に心を揺さぶられました。

大好きなお父様の健康を気遣いながら、自分の人生の道を力強く歩んでください。それが一番の親孝行になると思います。応援して

います。

#### ⑧若松高等学校 榎園 心晴（えのきぞの こはる）さん

若松区の未来について、高校生の目線による具体的に興味深い提案をしてくれました。「若松学」という自校での素晴らしい取組から学び、自分たちが暮らすこの地域を「元気にしたい！」という熱い思いが伝わってきました。

若松区は洞海湾と響灘に囲まれた、北九州市の中でも特に自然に恵まれ、さまざまな産業が発展している魅力のある地域です。榎園さんのような熱い気持ちを持つ若者が、若松区、そして北九州市をさらに発展させる行動を起こしてくれることに、大いに期待しています。

#### ⑨若松商業高等学校 御木 彩紗菜（みき あさな）さん

他校の取組を参考に、高校生らしく企業の具体的な取組に着目し、SDGsの視点で、その企業の理念と有益性について言及した素晴らしい意見発表でした。

また、「もっと若松のことを知ってもらいたい」という思いから、中学生年代からのキャリア教育の必要性を提案してくれました。

高校では、企業などとの協働を積極的に行っていると伺っています。そこから生まれた若者の斬新な企画やアイデアが生かされる社会になれば、北九州市のさらなる魅力向上につながると確信しました。これからの活躍を期待しています。

以上、どの意見発表からも、自身と周りの人々、そしてわがまちの輝かしい未来への希望を力強く感じることができました。話を聴いたすべての人の心に灯をともし、素晴らしい意見発表でした。

発表してくれた皆さんの心からのメッセージが、多くの方々に届き、素晴らしい新時代が築かれて行くことを祈念して講評とさせていただきます。

第48回北九州市青少年育成大会／第44回若松区青少年健全育成大会



石峯中学校 2年  
ほんだ ゆりか  
本田 結理花

市民憲章唱和



洞北中学校 2年  
みうら そら  
三浦 優空



洞北中学校 2年  
とくだ ななみ  
徳田 七海

司  
会



ア  
ト  
ラ  
ク  
シ  
ヨ  
ン

二島中学校合唱部の皆さん

文集作成に当たって

若松区校区青少年育成協議会連合会

会長 山崎 廣



このたびは、素晴らしい意見  
発表をしていただいた生徒の皆  
さん、アトラクションで感動的  
な歌声を届けてくださった二島

中学校合唱部の皆さんに心から感謝を申し上げます。また、講評をしていただきました洞北中学校  
竹中雅則校長先生をはじめ、ご指導・ご協力をいた  
だきました先生方、当日会場にお集まりいただいた  
皆様に深く感謝申し上げます。

今回の大会は、令和元年以来4年ぶりの開催とな  
り、北九州市の全市大会としての開催でもありまし  
たが、皆様のご協力により、大会を無事に終えるこ  
とができました。会場で生徒の皆さんの発表や演奏  
をお聴きになった皆様は、大変貴重な機会だったと  
実感されたのではないのでしょうか。

この文集を作成することで、より多くの皆様に生  
徒の皆さんの素晴らしい意見を届けられればと願っ  
ております。青少年健全育成に関わられている皆様  
におかれましては、周りの皆様にも、是非、共有し  
ていただければと思います。